

みやざき



2022年度 秋季活動報告



イベント 宮崎神宮大祭報告

3年ぶりに宮崎神宮大祭が10月29・30日にて開催されました。

宮崎青年会議所としては2日間の神賑行列に加え、夜の神武さま広場ではJC太鼓として参加させていただきました。3年ぶりの開催となりましたが、多くの方に足を運んでいただき、コロナ以前と変わらぬ賑わいを感じることができました。

初日は姉妹JCである檜原青年会議所のメンバーも一緒に山車を曳いて下さり、この時初めて交流できたメンバーも少なくありませんでした。

志を同じくするJCとして、今後もこの関係を深めていきたいと思えます。さらに次の世代までこの伝統が続くよう、来年、再来年も参加させていただきたいと考えております。

<会員拡大委員会> 委員長 日高龍太郎



10月例会 新入会員認証式・成果発表



10月14日に開催された、例会メインアワーにて新入会員の正会員認証式を行いました。

今年度は27名の新入会員が正会員認証され、その後、模擬理事会を開催し新入会員が構築した議案を班毎に発表していただきました。各班とも議案を作成するために何回も集まり会議を重ね、構築してまいりました。本番当日のプレゼンも大変素晴らしく、他のメンバーにも良い刺激になったと思えます。

<会員拡大委員会> 委員長 日高龍太郎

全国大会 おおいた大会



2022年10月6～9日に大分市で全国大会が行われました。

テーマは「愛を抱いて進め、JAYCEE!」。久しぶりに現地参加したメンバーも多く、宮崎青年会議所からは50名が出席しました。昭和電工ドームにて式典が行われ、冒頭のセレモニー

で九州地区協議会の川越英和会長がクリードを唱和し式典がスタート。中島土会頭の挨拶の後、プレジデンシャルリースが麻生将豊次年度会頭へと伝達されました。卒業式恒例のスペシャルゲストには元レミオロメンの藤巻亮太氏が登場し、卒業ソングとして定番となった「3月9日」を歌い会場を揺らしました。最後に花火が打ち上げられ卒業生みんなで花火をバックに写真を撮っている姿が印象的でした。LOMナイトでは卒業生がJC生活最後の全国大会を噛み締めるように楽しんでいました。卒業後に同期との思い出話として話題に上げれば、担当として嬉しく思います。

<地域課題解決委員会> 委員長 遠山貴一



企画・編集・発行

JC News Miyazaki / Vol.668 2022 WINTER

一般社団法人 宮崎青年会議所 広報財政局

〒880-0865 宮崎市松山1-12-7大春ビル3F TEL:0985-28-2522 FAX:0985-28-2466

9月例会

宮崎国際交流コンファレンス



今年「在住外国人の方々が住み暮らしやすいまちづくり」を目指し、在住外国人の方々と和太鼓の練習、国際交流イベント“みやざきインターナショナルフェスタ～ワールドテラス～”の開催、サッカー国際交流試合などを行い、国際交流の機会を創出してきました。

そして9月20日に9月例会メインアワーとして「みやざき国際交流コンファレンス」を開催いたしました。宮崎青年会議所が本年行ってきた国際交流推進事業の検証報告を行い、それをもとにこれからの国際交流の在り方についてグループワークを行いました。グループには宮崎県ベトナム人協会、宮崎県と宮崎市の国際交流の職員、大学教授、国際交流に尽力されている市民の方などにご参加頂き、「外国人同士のコミュニティ形成」や「労働・教育問題」などのテーマについて様々な視点で意見交換を行いました。

今回のコンファレンスで得られた貴重な意見はさまざまな国際交流団体と共有し今後も宮崎における国際交流を推進していきたいと思えます。

<国際交流委員会> 委員長 倉田猛



国際アカデミー報告

9月18日(日)～9月23日(金)計6日間、第35回国際アカデミーin小田原/箱根に参加させていただきました。3年ぶりの完全実地開催となり、67カ国170名弱のデリゲイツが参加いたしました。



世界中の会頭候補者たちと一緒にリーダーシップを学び、グループワークを重ね、プレゼンテーションまで、当然ながら全てが英語でのやり取りであり、最大の修練の機会をいただきました。

国や地域が変われば、課題も様々ありました。解決の仕方、考え方もまた様々。色々な価値観に触れることで視野が広がる貴重な体験をすることが出来ました。また、バディやチームの方と寝食を共にすることで、友情も生まれました。改めて自身を見つめ直す時間になり自信にも繋がりました。今回の参加に際して、LOM、会社、家族、サポートいただいた全ての方に感謝いたします。ありがとうございました。

<出向役員> 山崎隆太郎



出向者報告

日本青年会議所の国際アカデミー委員会に出向し、9月に小田原・箱根で行われた第35回国際アカデミー委員会へ運営スタッフとして参加してきました。講演でのマイクランナーや卒業式の準備・実施をはじめ、海外デリゲイツへは拙い英語でなんとか対応したり、夜には抜け出す人がいないようホテルを見回ったり等、事前準備含めて約1週間の濃密な体験をさせていただきました。宮崎には得難い貴重な成長と発展の機会を与えていただき、ありがとうございました。

<広報財政局> 次長 田所伸吾



11月例会

家族感謝祭 AWARDS MIYAZAKI 2022

11月13日(日)、11月例会メインアワー「家族感謝祭」を開催いたしました。3年ぶりの家族参加例会。新型コロナウイルス感染防止の観点から、本年は飲食を伴う「家族晩餐会」ではなく、メンバーが運営する縁日ブース、親子ストレッチやフラワーアレンジメント教室、大道芸人によるパフォーマンスショー、豪華賞品が当たる抽選会等、ご家族の皆様楽しんでいただく内容を盛り込んだ「家族感謝祭」とし、ご家族の皆様にも参加しやすい日曜日の日中に時間を変更し開催させていただきました。参加いただいたご家族の皆様からは、楽しかった、来年も是非開催してほしいとの声も多数いただきました。本年度新たな試みとして実施した家族参加例会の知見は、次年度以降もLOM事業の各所に活かしていきます。



<地域シナジー共創委員会> 委員長 柿塚健太郎



JCIポート

Web交流会



JCI宮崎の姉妹JCであるJCIポート(台湾)のメンバーとWeb交流会を開催しました。年に1回交流会を開催しているのですが、今年も直接お会いすることは叶わずWebでの交流となってしまいました。

お互い2022年度事業報告を行い、それぞれの事業に関して活発な意見交換をさせていただきました。また、ビジネスに関する交流会も今後開催できるようにしたいという話もあり、よりJCIポートとの関係も強くなっていくと感じました。

来年こそは直接お会いして交流を深められることを願っています。

<広報財政局> 局長 西岡幸則

サポ テス



3年ぶりに開催された宮崎神宮大祭で現役の皆さんを見ることができてよかった!改めて本当にいい事業だなと。私も現役の頃はいつも参加させていただいてました。卒業生を盛り上げるために車で迎えに行き、無理やりでも太鼓練習へ連れて行き、練習後はそのまま飲みに行く。行列でも山車を曳いて太鼓を叩いて市民の皆様喜んでいただく、普段できない体験ができ本当に楽しかった思い出がありません。今年の卒業生もそんないい思い出ができてほしい。

このご時世当時のようなメンバー同士の交流やシニアとの繋がりも少なくなってしまうととても残念ではありますが、来年以降はもっと活発な交流ができればいいなと思っています。また共に汗を流しながら活動をしたいものです。一緒に明るい豊かな社会を築きあげましょう。新年挨拶会や中間懇親会で皆さんに会えるのを楽しみにしています。